

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2005.9.18 呉市中央7-7-13 TEL21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

第49回全国児童作品展募集
(詳しくは別紙参照・締め切りは10月23日(日))

◎火垂の墓－わが家の場合－



龍谷大学伝道部の学生さんがする人形劇をみて笑う子どもたち(8月29日夏休み仏の子の集い。)

今日したこと

- おはなし
どうして手を合わすの?
(仏教子ども新聞)
- リング飛行機を作る

8月5日でしたか、原爆記念日前後にテレビで『火垂の墓』が放送されました。野坂昭如さん原作の宮崎アニメです。神戸の空襲の話で、四才の妹と14才のお兄ちゃんが、空襲で孤児となりますが、懸命に生きてゆこうとします。しかし、妹の節子ちゃんは、餓死するのです。大好きだったドロップの缶を握り締めて、「おにいちゃん、お腹がすいたあ」と言いながら死んでゆくの

その後、妹が大事にしていたドロップの缶に、妹の骨を少しだけ入れて、お兄ちゃんも懸命に生きようとするのですが、結局神戸三ノ宮駅の待合室でのたれ死ぬのです。浮浪者がその缶を見つめますが、ドロップが入っている訳ではないので、「なんじゃこりゃ」と言いながらその缶をカッーンと蹴り飛ばすのです(私は学生時代に見たっきりなので、確かこんな話だったと思います)。なんとも悲惨な映画です。

つれあいと里に帰っていた慧(さとる・4年)がこれを見て、とてもショックを受けたらしく、次の日に呉に帰ってきたのですが、思い出してはシクシク泣いているのです。私は一まあ2~3日すれば忘れるだろうと、放っておくことにしました。

しかし、2日経っても、思い出してはシクシク、なんと3日経っても思い出してはシクシク、とてもつらそうです。これは自分でどう心の整理をしているかわからないのかな?と思い、ちょっと聞いてみることにしました。「どうしたん?」すると慧は「お父さんやお母さんがいなくなったら、僕はどうしたらいいかわからないんだあー!」と泣きました。その言葉を聞いて、私も小さい頃、母が死んだ夢を見ては不安になって泣いていたことを思い出しました。

父「そうか、戦争でお父さんやお母さんがいなくなったら寂しいか。」慧「うん。」

そこで、ちょっと助け舟を出してみることにしました。「あのね、台風や洪水で人が死ぬのと、戦争で人が死ぬのは違うんだよ。台風や洪水はどうしようもないけれど、戦争はね、人間が起こすものだから、しないようにすることができるんだよ。お父さんはね、慧が大きくなるまで、日本が戦争をしないように頑張ろうと思うんだ。今度も選挙(衆議院選)があるけど、お父さんは戦争をするという人には投票しないからね、云々。」慧は半分納得できない顔をしていました。

「でもね、いつかはお父さんやお母さんは死ぬんだよ。慧が大きくなるまでは頑張ろうと思うけどね。その時にね、もっとああしてあげればよかった、こうしてあげればよかった、と後悔しないように、今、お母さんに親孝行しておきなさい。やさしくしてあげるんだよ(自分にしろとは言えないので)。弟にもやさしくするんだよ。映画の節子ちゃん、かわいそうだったねえ、たった3人の兄弟なんだから、弟を大事にしてやるんだよ。」

この言葉が効いたみたいです。食事の時にはワレ先に取り合って兄弟3人大ゲンカだったのですが、なんと慧は弟たちに「先に取りんさい」とかやさしく言うようになります。それだけではなく、食後には「お母さん、このままにしておいて。ボクが洗って片付けておくから。」と一。

効果は約1週間でしたが、私は、このことは私たち大人にとっても大切なことだと思います。いつか分かれるべき時を思い、自分の日常を振り返り、あらためる。子どもは柔らかいからすぐに変わりますね。ちょっとうらやましかったです。

次回は10月1日(土) 9時~10時です。

その次は10月16日(日) 9時からです。